



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画本部長 兼 管理本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,947	2.4	1,664	7.3	1,562	9.3	1,410	23.7
2020年3月期第2四半期	24,538	0.4	1,551	125.4	1,429	107.4	1,140	487.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,425百万円 (31.4%) 2020年3月期第2四半期 1,084百万円 (526.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	29.51	
2020年3月期第2四半期	23.85	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	30,938	7,482	24.1	155.96
2020年3月期	32,514	6,056	18.5	126.15

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,455百万円 2020年3月期 6,030百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2021年3月期	0.00	0.00			
2021年3月期(予想)			0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,738	5.3	1,940	30.5	1,785	31.1	1,345	27.3	28.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	48,919,396 株	2020年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,114,493 株	2020年3月期	1,114,443 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	47,804,939 株	2020年3月期2Q	47,805,212 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
3. その他 .....	11
部門別連結売上高 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済活動が大きく停滞する状況となりました。

経済活動の再開に伴い足下の景気動向には持ち直しの兆しが見られるものの、設備投資の抑制、雇用・所得環境の減退、及び個人消費の減少の影響もあり、先行き厳しい状況が続くものと予想されます。

このような社会情勢において、当社グループでは感染拡大の防止を最優先としながら各事業を継続してまいりました。

売上高につきましては、SE事業部門は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり「太陽光発電システム」の新規案件の営業が遅れたことにより、施工がずれ込み前年同期比減収となり、エネルギー事業部門は高圧供給先の1件あたりの供給電力量の減少及び市場への卸売電力量の減少等により減収となりました。また、HS事業部門は緊急事態宣言時に新規営業を自粛したものの前年同期並みとなり、ES事業部門、環境資源開発事業部門は前年同期比増収となりました。この結果、グループ全体の売上高は23,947百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

利益につきましては、増収を背景として環境資源開発事業部門は増益となり、減収となったSE事業部門、エネルギー事業部門が減益となったほか、HS事業部門、ES事業部門においては人員増等によるコスト増加により減益となりました。この結果、グループ全体の損益は、1,664百万円の営業利益(前年同期比7.3%増)、1,562百万円の経常利益(前年同期比9.3%増)、1,410百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期比23.7%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

## ①SE(ソーラー・エンジニアリング)事業部門

前期からの継続案件である土地付太陽光発電の施工は好調に推移したものの、SE事業部門は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり新規案件の営業が遅れたことにより、「太陽光発電システム」が減収となりました。この結果、売上高は5,399百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

営業損益は、販管費のコストを抑制したものの減収の影響が大きく、233百万円の営業利益(前年同期比21.7%減)となりました。

## ②HS(ホーム・サンテーション)事業部門

HS事業部門では、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言時は、新規営業を自粛しお客様からのお問い合わせへの対応を行ってまいりました。緊急事態宣言解除後は、感染防止対策を徹底したうえで通常営業に戻ってまいりました。このような環境の中、「白蟻防除施工」が前年同期比3.0%減、「基礎補修・家屋補強工事」が前年同期比12.8%減となったものの、「床下・天井裏換気システム」が前年同期比28.1%増となりました。この結果、売上高は5,886百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したことにより、1,168百万円の営業利益(前年同期比5.4%減)となりました。

## ③ES(エスタブリッシュメント・サンテーション)事業部門

ES事業部門は、前期以前からの積極的な人員の増加や新規出店により、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比2.5%増、「建物給排水補修施工」が前年同期比32.9%増となったものの、「建物防水塗装補修施工」は前年同期比41.9%減となりました。この結果、売上高は1,132百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

営業損益は、人員増による人件費等のコスト増加が増収による利益増加の効果を上回ったため、118百万円の営業利益(前年同期比13.6%減)となりました。

## ④環境資源開発事業部門

廃プラスチック類の受入量が減少しましたが受入物件の精査により「プラスチック燃料」が前年同期比9.4%増となりました。一方、「発電所売上」が前年同期比4.5%減、受入量の減少により「有機廃液処理」が前年同期比4.2%減、「埋立処理」が前年同期比18.3%減となりました。この結果、売上高は8,296百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

営業損益は、廃プラスチック類の受入物件精査等による収益性の向上により、1,974百万円の営業利益(前年同期比19.3%増)となりました。

## ⑤エネルギー事業部門

新電力事業の契約件数の減少により高圧小売量が減少したほか、相対調達の一部解除を行ったことで、電力市場への卸売量が減少したこと等により、売上高は4,402百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

営業損益は、相対調達の一部解除により新電力事業の収益率は改善したものの、他社と協業し取り組んでまいりました戸建て住宅を対象とした第三者保有型太陽光発電モデルを推進する人員を増加したことにより人件費等が増加した影響が大きく、33百万円の営業損失(前年同期は30百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は30,938百万円となり、前連結会計年度末比で1,576百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産が1,142百万円増加しましたが、現金及び預金が1,446百万円、受取手形及び売掛金が872百万円、原材料及び貯蔵品が323百万円減少したためであります。負債合計は23,456百万円となり、前連結会計年度末比で3,001百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,196百万円、未払金が922百万円、短期借入金が873百万円それぞれ減少したためであります。純資産合計は7,482百万円となり、前連結会計年度末比で1,425百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,410百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末18.5%に対し、当第2四半期連結会計期間末は24.1%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により619百万円の収入があったものの、投資活動により1,318百万円、財務活動により424百万円それぞれ支出があったため、前連結会計年度末に比べて1,116百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には4,142百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、619百万円の収入（前年同期は819百万円の収入）となりました。主な要因は、仕入債務が1,268百万円、未払金が1,004百万円それぞれ減少しましたが、税金等調整前四半期純利益1,562百万円、非資金支出項目として減価償却費511百万円計上し、売上債権が872百万円減少したためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,318百万円の支出（前年同期は1,753百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得により1,436百万円を支出したためであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、424百万円の支出（前年同期は523百万円の支出）となりました。主な要因は、短期借入金が純額で873百万円減少したこと等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、本日2020年11月12日付で下記のとおり修正いたしました。

売上高につきましては、エネルギー事業部門の売上高減少により前回予想を下回る見込みであります。

利益につきましては、売上高が前回予想を下回るものの、事業部ごとに見直した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、期初計画を維持しております。

## 2021年3月期 通期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	50,343	1,940	1,785	1,345	28.14円
今回修正予想 (B)	49,738	1,940	1,785	1,345	28.14円
増減額 (B - A)	△605	0	0	0	—
増減率 (%)	△1.2	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績(2020年3月期)	52,531	2,791	2,592	1,850	38.72円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,919	4,473
受取手形及び売掛金	5,453	4,580
商品及び製品	56	48
未成工事支出金	333	158
原材料及び貯蔵品	3,354	3,031
その他	1,362	1,259
貸倒引当金	△202	△202
流動資産合計	16,277	13,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,732	1,670
機械装置及び運搬具(純額)	2,071	2,298
土地	8,053	8,091
その他(純額)	1,882	2,821
有形固定資産合計	13,739	14,882
無形固定資産	450	650
投資その他の資産	2,047	2,055
固定資産合計	16,237	17,589
資産合計	32,514	30,938
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,716	2,519
短期借入金	9,525	8,652
1年内返済予定の長期借入金	928	915
未払金	3,471	2,548
未払法人税等	687	309
賞与引当金	256	256
再資源化費用等引当金	5	8
その他	2,986	2,887
流動負債合計	21,576	18,097
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	262	296
役員退職慰労引当金	9	9
処分場閉鎖費用引当金	637	659
退職給付に係る負債	1,727	1,792
その他	1,744	2,099
固定負債合計	4,881	5,359
負債合計	26,458	23,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
資本剰余金	1	1
利益剰余金	△6,506	△5,095
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	6,055	7,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	50
為替換算調整勘定	△90	△78
退職給付に係る調整累計額	34	17
その他の包括利益累計額合計	△25	△10
非支配株主持分	26	26
純資産合計	6,056	7,482
負債純資産合計	32,514	30,938

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	24,538	23,947
売上原価	15,675	14,815
売上総利益	8,863	9,132
販売費及び一般管理費	7,311	7,467
営業利益	1,551	1,664
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	1	1
受取地代家賃	31	31
為替差益	8	-
補助金収入	2	-
その他	20	28
営業外収益合計	72	71
営業外費用		
支払利息	101	103
支払手数料	75	1
為替差損	-	0
固定資産除却損	3	39
その他	14	28
営業外費用合計	194	172
経常利益	1,429	1,562
税金等調整前四半期純利益	1,429	1,562
法人税、住民税及び事業税	296	93
法人税等調整額	△4	58
法人税等合計	292	151
四半期純利益	1,137	1,410
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,140	1,410



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,137	1,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	19
為替換算調整勘定	△84	12
退職給付に係る調整額	42	△17
その他の包括利益合計	△52	14
四半期包括利益	1,084	1,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,088	1,425
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,429	1,562
減価償却費	431	511
賞与引当金の増減額 (△は減少)	167	△0
処分場閉鎖費用引当金の増減額 (△は減少)	9	21
再資源化費用等引当金の増減額 (△は減少)	3	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	61	48
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△4
受取利息及び受取配当金	△9	△10
支払利息	101	103
売上債権の増減額 (△は増加)	897	872
たな卸資産の増減額 (△は増加)	217	508
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△414	△71
仕入債務の増減額 (△は減少)	△454	△1,268
未払金の増減額 (△は減少)	△1,356	△1,004
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△106	△48
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	180	△161
その他	64	74
小計	1,206	1,135
利息及び配当金の受取額	9	10
利息の支払額	△97	△109
法人税等の支払額	△306	△431
法人税等の還付額	7	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	819	619
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△832	△307
定期預金の払戻による収入	659	640
有形固定資産の取得による支出	△1,492	△1,436
有形固定資産の売却による収入	1	7
無形固定資産の取得による支出	△94	△173
その他	6	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,753	△1,318
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△2,170	△873
長期借入れによる収入	928	180
長期借入金の返済による支出	△109	△158
社債の発行による収入	500	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△118	△160
その他	445	587
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523	△424
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,515	△1,116
現金及び現金同等物の期首残高	4,497	5,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,982	4,142

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SE事業 部門	HS事業 部門	ES事業 部門	環境資源開 発事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	5,606	5,884	1,102	6,903	5,041	24,538	-	24,538
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	1,142	-	1,142	△1,142	-
計	5,606	5,884	1,102	8,045	5,041	25,680	△1,142	24,538
セグメント利益 又は損失(△)	298	1,235	137	1,655	△30	3,295	△1,744	1,551

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用1,744百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SE事業 部門	HS事業 部門	ES事業 部門	環境資源開 発事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	5,399	5,886	1,132	7,126	4,402	23,947	-	23,947
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	1,169	-	1,169	△1,169	-
計	5,399	5,886	1,132	8,296	4,402	25,117	△1,169	23,947
セグメント利益 又は損失(△)	233	1,168	118	1,974	△33	3,462	△1,798	1,664

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用1,798百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品 目	期 別	数 量 単 位	前第2四半期 連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		当第2四半期 連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日		比 較 増 減	
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
太陽光発電システム		kW	33,651	5,417	30,241	5,248	△3,409	△168
太陽光発電システム卸販売		—	—	121	—	98	—	△22
その他		—	—	67	—	51	—	△16
S E 事業部門計		—	—	5,606	—	5,399	—	△207
白蟻防除施工		千坪	336	1,991	310	1,931	△25	△60
床下・天井裏換気システム		—	—	1,187	—	1,520	—	333
基礎補修・家屋補強工事		軒	2,400	969	2,071	845	△329	△124
その他		—	—	1,736	—	1,588	—	△147
H S 事業部門計		—	—	5,884	—	5,886	—	1
防錆機器取付施工		本	498	554	519	568	21	14
建物給排水補修施工		—	—	215	—	286	—	71
建物防水塗装補修施工		—	—	143	—	83	—	△60
その他		—	—	188	—	194	—	5
E S 事業部門計		—	—	1,102	—	1,132	—	30
プラスチック燃料		t	143,391	4,703	131,048	5,146	△12,342	443
発電所売上		—	—	1,644	—	1,570	—	△73
有機廃液処理		t	53,801	962	47,620	921	△6,181	△40
埋立処理		—	—	470	—	384	—	△86
その他		—	—	264	—	272	—	8
環境資源開発事業部門計		—	—	8,045	—	8,296	—	250
売電収入		—	—	5,011	—	4,165	—	△845
その他		—	—	30	—	236	—	206
エネルギー事業部門計		—	—	5,041	—	4,402	—	△639
セグメント間の内部売上高調整額		—	—	△1,142	—	△1,169	—	△26
売上高計		—	—	24,538	—	23,947	—	△590